

布育のすすめ①～簡単布おもちゃ作り「ままごと具材」～

令和3年8月3日

一般社団法人 布育普及協会 代表理事・布おもちゃ作家 さとうゆきこ

- ◆ ちゃんと遊べば ちゃんと育つ
- ◆ 子どもは遊びの中で学ぶ
 - ・身体能力 ・認知 ・知識 ・言葉 ・ルール ・創作 ・知的好奇心 ・コミュニケーション
- ◆ ごっこ遊び = 想像力 + コミュニケーション + 表現力
- ◆ おもちゃ = 遊びを助ける道具
- ◆ 適切なおもちゃ ⇒ 豊かな遊び ⇒ 健やかな成長・発達
- ◆ ままごと具材を作ろう！
 - ・ どんな遊び方があるだろう？
- ◆ ままごと具材 ポイント
 - ・ 見立て遊びができるもの
 - ・ 想像力
 - ・ 遊びの幅
 - ・ 作り込みすぎなくてよい(大量生産できる)
 - ・ いろいろな形
 - ・ 丸型 ・平型 ・麺型
 - ・ 美味しそうな色
 - ・ 動作がある ⇒
- ◆ 現在の「ままごとコーナー」は？
 - どんなものがありますか？
 - 子ども達はよく遊んでいますか？
 - ・ 継続性
 - ・ 発展性
 - よく遊んでいる子どもから学ぼう！
 - ・ 子どもの遊びのお手本は 子ども
 - ・ 「困る子」の監視で終わらないように
 - ままごとコーナーのリニューアルを検討
 - ・ 数？ 種類？
 - ・ 発達段階・興味にあっている？

◆ ままごとを『動作』から考える（※歳児は参考。発達の流れとしてみてください。）

- 0歳～「ままごとの第一歩」
 - ・ 食べるふり
 - ・ お皿に乗せる
- 1歳～「食べ物のイメージ」
 - ・ 見立てる
 - ・ 言葉のやり取り
- 2歳～「食事のイメージ」
 - ・ 巻く
 - ・ トングで挟む
 - ・ 包丁で切る
 - ・ 包む
- 3歳～「調理のイメージ」
 - ・ 鍋に入れる
 - ・ 混ぜる
 - ・ お玉ですくう
 - ・ スポンジで洗う
 - ・ 布巾で拭く
- 4・5歳～「役割」
 - ・ 家族
 - ・ お店屋さん
 - ・ レストラン
 - ・ ピクニック

◆ ごっこ遊びの 想像力

- 物 — 想像力がはたらくような おもちゃや環境
 - ・ おもちゃ
 - ・ 家具・遊具
 - ・ 自然物
- 人 — 思いやり
 - ・ 自分以外の人になる
 - ・ 立場・心になる

◆ イメージの共有・表現

- おもちゃをヒントに表現する
- 言葉で共有部分を広げる =コミュニケーション能力

◆ 今こそ ごっこ遊び！ 大人(保育者が守ってあげてほしい)

- 時間・場所の確保 — 隙間時間ではできない
- 幼児期にしかできない — 取り返しがつかない